

令和8年度新規地区採択チェックリスト

(8-1) 農業競争力強化基盤整備事業(農業競争力強化農地整備事業(農地整備事業))

(都道府県名:福井県)(地区名:東荒井)

1. 必須事項

項目	評価の内容	判定
1. 事業の必要性が明確であること。(必要性)	・農業生産性の向上、農業総生産の維持・増大、農業生産の選択的拡大、農業構造の改善、営農環境の改善等の観点から、当該事業を必要とすること。	<input type="checkbox"/>
2. 技術的可能性が確実であること。	・地形、地質、水利状況等からみて、当該事業の施行が技術的に可能であること。	<input type="checkbox"/>
3. 事業の効率性が十分見込まれること。(効率性)	・当該事業の効用の発現が十分に見込まれ、すべての効用がそのすべての費用を償うこと。	<input type="checkbox"/>
4. 受益者負担の可能性が十分であること。(公平性)	・当該事業の費用に係る受益農家の負担が、農業経営の状況からみて、負担能力の限度を超えることとならないこと。	<input type="checkbox"/>
5. 環境との調和に配慮していること。	・当該事業が環境との調和に配慮したものであること。	<input type="checkbox"/>
6. 事業の採択要件を満たしていること。	・事業実施要綱・要領に規定された事業内容、採択基準の要件に適合していること。	<input type="checkbox"/>

項目を満たしている場合は「○」とする。

項目欄の()には、主として考えられる観点を記述している。

令和8年度新規地区採択チェックリスト

(8-1) 農業競争力強化基盤整備事業(農業競争力強化農地整備事業(農地整備事業))

(都道府県名: 福井県)(地区名: 東荒井)

2. 優先配慮事項

【効率性・有効性】

評価項目			評価指標	単位	評価結果	評価
大項目	中項目	小項目				
効率性	事業の経済性・効率性		①事業費の経済性・効率性の確保	-	○	A
			②コスト縮減についての具体的配慮		○	
有効性	食料安全保障の確保	農業生産性の維持・向上	土地生産性及び労働生産性の維持・向上効果額(受益面積当たり)	千円/ha・年	1,560	A
			スマート農業技術等の導入	-	A	A
			大区画化ほ場の割合	%	54.3	B
			①担い手の米の生産コストの労働費	円/60kg	3,018	B
	②事業実施前と比較した担い手の米の生産コストの労働費	割	8			
		産地収益力の向上	①高収益作物の生産額の増加率	%	1,939.7	A
			②高収益作物の作付面積の増加率	%	1,800.0	
	農業の持続的発展	望ましい農業構造の確立	担い手への農地利用集積率	%	87.9	A
			担い手への面的集積率	%	100.0	A
		農地の確保・有効利用	①耕地利用率	%	137.1	A
	②作付率の増加ポイント	%	6.1			
	農村の振興	地域経済への波及効果	他産業への経済波及効果額(受益面積当たり)	千円/ha・年	429	B
		農業の高付加価値化	①農業の高付加価値化や6次産業化に向けた取組	-	-	B
			②地域活性化に係る話合い		○	
多面的機能の発揮	地域の共同活動	多面的機能支払交付金等の取組	-	○	A	
環境と調和のとれた食料システムの確立	みどりの食料システム戦略に係る取組 生態系・景観への配慮	「みどりの食料システム戦略」に係る取組の検討状況	-	○	A	
		①環境情報協議会等の意見を踏まえた生態系及び景観への配慮	-	a	A	
		②地域住民の参加や地域住民との合意形成への取組	-	a		
③維持管理、費用負担、モニタリング体制等の調整状況	-	a				

【事業の実施環境等】

評価項目			評価指標	単位	評価結果	評価
大項目	中項目	小項目				
事業の実施環境等	連携管理保全計画（水土里ビジョン）の策定		連携管理保全計画（水土里ビジョン）の策定状況	—	B	B
	関係計画との連携		①都道府県や市町村が策定する農業振興計画や農業振興地域整備計画等と本事業との整合性 ②高生産性優良農業地域対策に基づく広域農業農村整備促進計画との整合性 ③地域計画と本事業との整合性 ④地域における開発計画と本事業との整合性 ⑤関係計画における関連事業等への位置付け	—	a — a a —	A
	関係機関との連携		農地中間管理機構との連携	—	—	B
	関係機関との協議		①河川管理者との協議（予備）の状況 ②その他着工前に重要な協議（予備）の状況	—	— a	A
	地元合意		①事業実施に対する受益農家の同意状況 ②事業実施に対する関係市町村の同意状況 ③事業推進協議会から着工要望の提出 ④維持管理方法と費用負担に関する予定管理者との合意 ⑤事業に伴う土地利用規制の周知状況	—	a a a a a	A
	営農推進体制・環境		①営農部局との連携 ②営農推進組織等（営農支援体制）の設立状況 ③農産物の流通・販売基盤の整備状況 ④需要に応じた生産の取組状況 ⑤フラッグシップ輸出産地又は輸出事業計画（GFPグローバル産地計画）の対象となる作物の営農計画への位置付け状況	—	a a a a —	A
	緊急性		①国営事業等関連する他の公共事業との関係で緊急性が高い ②老朽化等による施設機能低下や農業被害の発生状況、地域の農家の減少、荒廃農地の増加状況から、施設整備の緊急性が高い	—	— ○	B
	ストック効果の最大化		ストック効果の最大化に向けた事業の効率性・有効性等の確保	%	63.2	B

東荒井地区の事業の効用に関する説明資料

1 総費用総便益比の算定

(1) 総費用総便益比の総括

(単位：千円)

区 分	算 定 式	数 値
総費用（現在価値化）	①=②+③	1,482,789
当該事業による費用	②	1,235,497
関連事業による費用、資産価額、再整備費	③	247,292
評価期間（当該事業の工事期間+40年）	④	46年
社会的割引率		4%
総便益額（現在価値化）	⑤	1,955,760
総費用総便益比	⑥=⑤÷①	1.31

(2) 総費用の総括

(単位：千円)

区 分	施 設 名 (又は工種)	資産価額 (事業着工 時点)	当該事業 による費 用	関連事業 による費 用	再整備費	資産価額 (評価期間 終了時点)	総費用
		①	②	③	④	⑤	⑥= ①+②+③ +④-⑤
当 該 事 業	農業用排水施設整備	-	971,302	-	238,237	107,296	1,194,873
	暗渠排水	-	264,195	-	93,553	12,529	472,161
	計	-	1,235,497	-	331,790	119,825	1,667,034
そ の 他	幹線排水路	0	-	-	281,894	246,567	430,457
	計	0	-	-	281,894	246,567	35,327
合 計		0	1,235,497	-	613,684	366,392	1,482,789

(3) 年総効果額の総括

(単位：千円)

効果項目	区分	年 総 効 果 (便 益) 額	効果の要因
食料の安定供給の確保に関する効果			
作物生産効果		4,359	農業用排水施設整備、暗渠排水を実施した場合と実施しなかった場合での作物生産量が増減する効果
営農経費節減効果		103,761	農業用排水施設整備、暗渠排水を実施した場合と実施しなかった場合での営農経費が増減する効果
維持管理費節減効果		△ 15	農業用排水施設整備を実施した場合と実施しなかった場合での施設の維持管理費が増減する効果
多面的機能の発揮に関する効果			
景観・環境保全効果		598	農業用排水施設整備にあたり、周辺の景観や環境へ配慮した設計・構造を合わせもった施設として整備されることで発揮される効果
その他の効果			
国産農産物安定供給効果		1,615	農業用排水施設整備、暗渠排水の実施により農業生産性の向上や営農条件等の改善が図られ、国産農産物の安定供給に寄与する効果
合 計		110,318	

(4) 総便益額算出表－1

評価期間	年度	割引率 (1+割引率) ^t ①	経過年 (t)	作物生産効果(農業用排水施設)					備考
				更新分に 係る効果 年効果額 (千円) ②	新設及び機能向上分 に係る効果			計 同 左 割 引 後 (千円) ⑦=⑥÷①	
					年効果額 (千円) ③	効果発生 割 合 (%) ④	年 発 生 効 果 額 (千円) ⑤=③×④		
1	R8	1.0400	1	1,040	-	-	-	1,040	1,000
2	R9	1.0816	2	1,040	-	-	-	1,040	962
3	R10	1.1249	3	1,040	-	-	-	1,040	925
4	R11	1.1699	4	1,040	-	-	-	1,040	889
5	R12	1.2167	5	1,040	-	-	-	1,040	855
6	R13	1.2653	6	1,040	-	-	-	1,040	822
7	R14	1.3159	7	1,040	-	-	-	1,040	790
8	R15	1.3686	8	1,040	-	-	-	1,040	760
9	R16	1.4233	9	1,040	-	-	-	1,040	731
10	R17	1.4802	10	1,040	-	-	-	1,040	703
11	R18	1.5395	11	1,040	-	-	-	1,040	676
12	R19	1.6010	12	1,040	-	-	-	1,040	650
13	R20	1.6651	13	1,040	-	-	-	1,040	625
14	R21	1.7317	14	1,040	-	-	-	1,040	601
15	R22	1.8009	15	1,040	-	-	-	1,040	577
16	R23	1.8730	16	1,040	-	-	-	1,040	555
17	R24	1.9479	17	1,040	-	-	-	1,040	534
18	R25	2.0258	18	1,040	-	-	-	1,040	513
19	R26	2.1068	19	1,040	-	-	-	1,040	494
20	R27	2.1911	20	1,040	-	-	-	1,040	475
21	R28	2.2788	21	1,040	-	-	-	1,040	456
22	R29	2.3699	22	1,040	-	-	-	1,040	439
23	R30	2.4647	23	1,040	-	-	-	1,040	422
24	R31	2.5633	24	1,040	-	-	-	1,040	406
25	R32	2.6658	25	1,040	-	-	-	1,040	390
26	R33	2.7725	26	1,040	-	-	-	1,040	375
27	R34	2.8834	27	1,040	-	-	-	1,040	361
28	R35	2.9987	28	1,040	-	-	-	1,040	347
29	R36	3.1187	29	1,040	-	-	-	1,040	333
30	R37	3.2434	30	1,040	-	-	-	1,040	321
31	R38	3.3731	31	1,040	-	-	-	1,040	308
32	R39	3.5081	32	1,040	-	-	-	1,040	296
33	R40	3.6484	33	1,040	-	-	-	1,040	285
34	R41	3.7943	34	1,040	-	-	-	1,040	274
35	R42	3.9461	35	1,040	-	-	-	1,040	264
36	R43	4.1039	36	1,040	-	-	-	1,040	253
37	R44	4.2681	37	1,040	-	-	-	1,040	244
38	R45	4.4388	38	1,040	-	-	-	1,040	234
39	R46	4.6164	39	1,040	-	-	-	1,040	225
40	R47	4.8010	40	1,040	-	-	-	1,040	217
41	R48	4.9931	41	1,040	-	-	-	1,040	208
42	R49	5.1928	42	1,040	-	-	-	1,040	200
43	R50	5.4005	43	1,040	-	-	-	1,040	193
44	R51	5.6165	44	1,040	-	-	-	1,040	185
45	R52	5.8412	45	1,040	-	-	-	1,040	178
46	R53	6.0748	46	1,040	-	-	-	1,040	171
合計 (総便益額)									21,722

※経過年は評価年からの年数。

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

(4) 総便益額算出表-1

評価期間	年度	割引率 (1+割引率) ^t ①	経過年 (t)	作物生産効果(暗渠排水)						備考
				更新分に 係る効果 年効果額 (千円) ②	新設及び機能向上分 に係る効果			計		
					年効果額 (千円) ③	効果発生 割合 (%) ④	年発生 効果額 (千円) ⑤=③×④	年効果額 (千円) ⑥=②+⑤	左 割引後 (千円) ⑦=⑥÷①	
1	R8	1.0400	1	-	3,319	0.0	0	0	0	
2	R9	1.0816	2	-	3,319	16.9	561	561	519	
3	R10	1.1249	3	-	3,319	33.0	1,095	1,095	973	
4	R11	1.1699	4	-	3,319	50.0	1,660	1,660	1,419	
5	R12	1.2167	5	-	3,319	66.9	2,220	2,220	1,825	
6	R13	1.2653	6	-	3,319	83.0	2,755	2,755	2,177	
7	R14	1.3159	7	-	3,319	100.0	3,319	3,319	2,522	
8	R15	1.3686	8	-	3,319	100.0	3,319	3,319	2,425	
9	R16	1.4233	9	-	3,319	100.0	3,319	3,319	2,332	
10	R17	1.4802	10	-	3,319	100.0	3,319	3,319	2,242	
11	R18	1.5395	11	-	3,319	100.0	3,319	3,319	2,156	
12	R19	1.6010	12	-	3,319	100.0	3,319	3,319	2,073	
13	R20	1.6651	13	-	3,319	100.0	3,319	3,319	1,993	
14	R21	1.7317	14	-	3,319	100.0	3,319	3,319	1,917	
15	R22	1.8009	15	-	3,319	100.0	3,319	3,319	1,843	
16	R23	1.8730	16	-	3,319	100.0	3,319	3,319	1,772	
17	R24	1.9479	17	-	3,319	100.0	3,319	3,319	1,704	
18	R25	2.0258	18	-	3,319	100.0	3,319	3,319	1,638	
19	R26	2.1068	19	-	3,319	100.0	3,319	3,319	1,575	
20	R27	2.1911	20	-	3,319	100.0	3,319	3,319	1,515	
21	R28	2.2788	21	-	3,319	100.0	3,319	3,319	1,456	
22	R29	2.3699	22	-	3,319	100.0	3,319	3,319	1,400	
23	R30	2.4647	23	-	3,319	100.0	3,319	3,319	1,347	
24	R31	2.5633	24	-	3,319	100.0	3,319	3,319	1,295	
25	R32	2.6658	25	-	3,319	100.0	3,319	3,319	1,245	
26	R33	2.7725	26	-	3,319	100.0	3,319	3,319	1,197	
27	R34	2.8834	27	-	3,319	100.0	3,319	3,319	1,151	
28	R35	2.9987	28	-	3,319	100.0	3,319	3,319	1,107	
29	R36	3.1187	29	-	3,319	100.0	3,319	3,319	1,064	
30	R37	3.2434	30	-	3,319	100.0	3,319	3,319	1,023	
31	R38	3.3731	31	-	3,319	100.0	3,319	3,319	984	
32	R39	3.5081	32	-	3,319	100.0	3,319	3,319	946	
33	R40	3.6484	33	-	3,319	100.0	3,319	3,319	910	
34	R41	3.7943	34	-	3,319	100.0	3,319	3,319	875	
35	R42	3.9461	35	-	3,319	100.0	3,319	3,319	841	
36	R43	4.1039	36	-	3,319	100.0	3,319	3,319	809	
37	R44	4.2681	37	-	3,319	100.0	3,319	3,319	778	
38	R45	4.4388	38	-	3,319	100.0	3,319	3,319	748	
39	R46	4.6164	39	-	3,319	100.0	3,319	3,319	719	
40	R47	4.8010	40	-	3,319	100.0	3,319	3,319	691	
41	R48	4.9931	41	-	3,319	100.0	3,319	3,319	665	
42	R49	5.1928	42	-	3,319	100.0	3,319	3,319	639	
43	R50	5.4005	43	-	3,319	100.0	3,319	3,319	615	
44	R51	5.6165	44	-	3,319	100.0	3,319	3,319	591	
45	R52	5.8412	45	-	3,319	100.0	3,319	3,319	568	
46	R53	6.0748	46	-	3,319	100.0	3,319	3,319	546	
合計(総便益額)									58,830	

※経過年は評価年からの年数。

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

(4) 総便益額算出表-2

評価期間	年度	割引率 (1+割引率) ^t ①	経過年 (t)	営農経費節減効果(農業用排水施設)						備考
				更新分に 係る効果 年効果額 (千円) ②	新設及び機能向上分 に係る効果		計		左 引後 (千円) ⑦=⑥÷①	
					年効果額 (千円) ③	効果発生 割合 (%) ④	年発生 効果額 (千円) ⑤=③×④	年効果額 (千円) ⑥=②+⑤		
1	R8	1.0400	1	△ 121	73,755	0.0	0	△ 121	△ 116	
2	R9	1.0816	2	△ 121	73,755	17.0	12,538	12,417	11,480	
3	R10	1.1249	3	△ 121	73,755	32.9	24,265	24,144	21,463	
4	R11	1.1699	4	△ 121	73,755	50.0	36,878	36,757	31,419	
5	R12	1.2167	5	△ 121	73,755	67.0	49,416	49,295	40,515	
6	R13	1.2653	6	△ 121	73,755	82.9	61,143	61,022	48,227	
7	R14	1.3159	7	△ 121	73,755	100.0	73,755	73,634	55,957	
8	R15	1.3686	8	△ 121	73,755	100.0	73,755	73,634	53,802	
9	R16	1.4233	9	△ 121	73,755	100.0	73,755	73,634	51,735	
10	R17	1.4802	10	△ 121	73,755	100.0	73,755	73,634	49,746	
11	R18	1.5395	11	△ 121	73,755	100.0	73,755	73,634	47,830	
12	R19	1.6010	12	△ 121	73,755	100.0	73,755	73,634	45,993	
13	R20	1.6651	13	△ 121	73,755	100.0	73,755	73,634	44,222	
14	R21	1.7317	14	△ 121	73,755	100.0	73,755	73,634	42,521	
15	R22	1.8009	15	△ 121	73,755	100.0	73,755	73,634	40,887	
16	R23	1.8730	16	△ 121	73,755	100.0	73,755	73,634	39,313	
17	R24	1.9479	17	△ 121	73,755	100.0	73,755	73,634	37,802	
18	R25	2.0258	18	△ 121	73,755	100.0	73,755	73,634	36,348	
19	R26	2.1068	19	△ 121	73,755	100.0	73,755	73,634	34,951	
20	R27	2.1911	20	△ 121	73,755	100.0	73,755	73,634	33,606	
21	R28	2.2788	21	△ 121	73,755	100.0	73,755	73,634	32,313	
22	R29	2.3699	22	△ 121	73,755	100.0	73,755	73,634	31,071	
23	R30	2.4647	23	△ 121	73,755	100.0	73,755	73,634	29,875	
24	R31	2.5633	24	△ 121	73,755	100.0	73,755	73,634	28,726	
25	R32	2.6658	25	△ 121	73,755	100.0	73,755	73,634	27,622	
26	R33	2.7725	26	△ 121	73,755	100.0	73,755	73,634	26,559	
27	R34	2.8834	27	△ 121	73,755	100.0	73,755	73,634	25,537	
28	R35	2.9987	28	△ 121	73,755	100.0	73,755	73,634	24,555	
29	R36	3.1187	29	△ 121	73,755	100.0	73,755	73,634	23,610	
30	R37	3.2434	30	△ 121	73,755	100.0	73,755	73,634	22,703	
31	R38	3.3731	31	△ 121	73,755	100.0	73,755	73,634	21,830	
32	R39	3.5081	32	△ 121	73,755	100.0	73,755	73,634	20,990	
33	R40	3.6484	33	△ 121	73,755	100.0	73,755	73,634	20,183	
34	R41	3.7943	34	△ 121	73,755	100.0	73,755	73,634	19,406	
35	R42	3.9461	35	△ 121	73,755	100.0	73,755	73,634	18,660	
36	R43	4.1039	36	△ 121	73,755	100.0	73,755	73,634	17,942	
37	R44	4.2681	37	△ 121	73,755	100.0	73,755	73,634	17,252	
38	R45	4.4388	38	△ 121	73,755	100.0	73,755	73,634	16,589	
39	R46	4.6164	39	△ 121	73,755	100.0	73,755	73,634	15,951	
40	R47	4.8010	40	△ 121	73,755	100.0	73,755	73,634	15,337	
41	R48	4.9931	41	△ 121	73,755	100.0	73,755	73,634	14,747	
42	R49	5.1928	42	△ 121	73,755	100.0	73,755	73,634	14,180	
43	R50	5.4005	43	△ 121	73,755	100.0	73,755	73,634	13,635	
44	R51	5.6165	44	△ 121	73,755	100.0	73,755	73,634	13,110	
45	R52	5.8412	45	△ 121	73,755	100.0	73,755	73,634	12,606	
46	R53	6.0748	46	△ 121	73,755	100.0	73,755	73,634	12,121	
合計(総便益額)									1,304,811	

※経過年は評価年からの年数。

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

(4) 総便益額算出表-2

評価期間	年度	割引率 (1+割引率) ^t ①	経過年 (t)	営農経費節減効果(暗渠排水)						備考
				更新分に 係る効果 年効果額 (千円) ②	新設及び機能向上分 に係る効果			計		
					年効果額 (千円) ③	効果発生 割合 (%) ④	年発生 効果額 (千円) ⑤=③×④	年効果額 (千円) ⑥=②+⑤	左 割引後 (千円) ⑦=⑥÷①	
1	R8	1.0400	1	-	30,127	0.0	0	0	0	
2	R9	1.0816	2	-	30,127	16.9	5,091	5,091	4,707	
3	R10	1.1249	3	-	30,127	33.0	9,942	9,942	8,838	
4	R11	1.1699	4	-	30,127	50.0	15,064	15,064	12,876	
5	R12	1.2167	5	-	30,127	66.9	20,155	20,155	16,565	
6	R13	1.2653	6	-	30,127	83.0	25,005	25,005	19,762	
7	R14	1.3159	7	-	30,127	100.0	30,127	30,127	22,895	
8	R15	1.3686	8	-	30,127	100.0	30,127	30,127	22,013	
9	R16	1.4233	9	-	30,127	100.0	30,127	30,127	21,167	
10	R17	1.4802	10	-	30,127	100.0	30,127	30,127	20,353	
11	R18	1.5395	11	-	30,127	100.0	30,127	30,127	19,569	
12	R19	1.6010	12	-	30,127	100.0	30,127	30,127	18,818	
13	R20	1.6651	13	-	30,127	100.0	30,127	30,127	18,093	
14	R21	1.7317	14	-	30,127	100.0	30,127	30,127	17,397	
15	R22	1.8009	15	-	30,127	100.0	30,127	30,127	16,729	
16	R23	1.8730	16	-	30,127	100.0	30,127	30,127	16,085	
17	R24	1.9479	17	-	30,127	100.0	30,127	30,127	15,466	
18	R25	2.0258	18	-	30,127	100.0	30,127	30,127	14,872	
19	R26	2.1068	19	-	30,127	100.0	30,127	30,127	14,300	
20	R27	2.1911	20	-	30,127	100.0	30,127	30,127	13,750	
21	R28	2.2788	21	-	30,127	100.0	30,127	30,127	13,221	
22	R29	2.3699	22	-	30,127	100.0	30,127	30,127	12,712	
23	R30	2.4647	23	-	30,127	100.0	30,127	30,127	12,223	
24	R31	2.5633	24	-	30,127	100.0	30,127	30,127	11,753	
25	R32	2.6658	25	-	30,127	100.0	30,127	30,127	11,301	
26	R33	2.7725	26	-	30,127	100.0	30,127	30,127	10,866	
27	R34	2.8834	27	-	30,127	100.0	30,127	30,127	10,448	
28	R35	2.9987	28	-	30,127	100.0	30,127	30,127	10,047	
29	R36	3.1187	29	-	30,127	100.0	30,127	30,127	9,660	
30	R37	3.2434	30	-	30,127	100.0	30,127	30,127	9,289	
31	R38	3.3731	31	-	30,127	100.0	30,127	30,127	8,932	
32	R39	3.5081	32	-	30,127	100.0	30,127	30,127	8,588	
33	R40	3.6484	33	-	30,127	100.0	30,127	30,127	8,258	
34	R41	3.7943	34	-	30,127	100.0	30,127	30,127	7,940	
35	R42	3.9461	35	-	30,127	100.0	30,127	30,127	7,635	
36	R43	4.1039	36	-	30,127	100.0	30,127	30,127	7,341	
37	R44	4.2681	37	-	30,127	100.0	30,127	30,127	7,059	
38	R45	4.4388	38	-	30,127	100.0	30,127	30,127	6,787	
39	R46	4.6164	39	-	30,127	100.0	30,127	30,127	6,526	
40	R47	4.8010	40	-	30,127	100.0	30,127	30,127	6,275	
41	R48	4.9931	41	-	30,127	100.0	30,127	30,127	6,034	
42	R49	5.1928	42	-	30,127	100.0	30,127	30,127	5,802	
43	R50	5.4005	43	-	30,127	100.0	30,127	30,127	5,579	
44	R51	5.6165	44	-	30,127	100.0	30,127	30,127	5,364	
45	R52	5.8412	45	-	30,127	100.0	30,127	30,127	5,158	
46	R53	6.0748	46	-	30,127	100.0	30,127	30,127	4,959	
合計(総便益額)									534,012	

※経過年は評価年からの年数。

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

(4) 総便益額算出表-3

評価期間	年度	割引率 (1+割引率) ^t ①	経過年 (t)	維持管理費節減効果(農業用排水施設)						備考
				更新分に 係る効果 年効果額 (千円) ②	新設及び機能向上分 に係る効果		計		左 引後 (千円) ⑦=⑥÷①	
					年効果額 (千円) ③	効果発生 割合 (%) ④	年発生 効果額 (千円) ⑤=③×④	年効果額 (千円) ⑥=②+⑤		
1	R8	1.0400	1	△ 456	441	0.0	0	△ 456	△ 438	
2	R9	1.0816	2	△ 456	441	0.0	0	△ 456	△ 422	
3	R10	1.1249	3	△ 456	441	0.0	0	△ 456	△ 405	
4	R11	1.1699	4	△ 456	441	0.0	0	△ 456	△ 390	
5	R12	1.2167	5	△ 456	441	0.0	0	△ 456	△ 375	
6	R13	1.2653	6	△ 456	441	0.0	0	△ 456	△ 360	
7	R14	1.3159	7	△ 456	441	100.0	441	△ 15	△ 11	
8	R15	1.3686	8	△ 456	441	100.0	441	△ 15	△ 11	
9	R16	1.4233	9	△ 456	441	100.0	441	△ 15	△ 11	
10	R17	1.4802	10	△ 456	441	100.0	441	△ 15	△ 10	
11	R18	1.5395	11	△ 456	441	100.0	441	△ 15	△ 10	
12	R19	1.6010	12	△ 456	441	100.0	441	△ 15	△ 9	
13	R20	1.6651	13	△ 456	441	100.0	441	△ 15	△ 9	
14	R21	1.7317	14	△ 456	441	100.0	441	△ 15	△ 9	
15	R22	1.8009	15	△ 456	441	100.0	441	△ 15	△ 8	
16	R23	1.8730	16	△ 456	441	100.0	441	△ 15	△ 8	
17	R24	1.9479	17	△ 456	441	100.0	441	△ 15	△ 8	
18	R25	2.0258	18	△ 456	441	100.0	441	△ 15	△ 7	
19	R26	2.1068	19	△ 456	441	100.0	441	△ 15	△ 7	
20	R27	2.1911	20	△ 456	441	100.0	441	△ 15	△ 7	
21	R28	2.2788	21	△ 456	441	100.0	441	△ 15	△ 7	
22	R29	2.3699	22	△ 456	441	100.0	441	△ 15	△ 6	
23	R30	2.4647	23	△ 456	441	100.0	441	△ 15	△ 6	
24	R31	2.5633	24	△ 456	441	100.0	441	△ 15	△ 6	
25	R32	2.6658	25	△ 456	441	100.0	441	△ 15	△ 6	
26	R33	2.7725	26	△ 456	441	100.0	441	△ 15	△ 5	
27	R34	2.8834	27	△ 456	441	100.0	441	△ 15	△ 5	
28	R35	2.9987	28	△ 456	441	100.0	441	△ 15	△ 5	
29	R36	3.1187	29	△ 456	441	100.0	441	△ 15	△ 5	
30	R37	3.2434	30	△ 456	441	100.0	441	△ 15	△ 5	
31	R38	3.3731	31	△ 456	441	100.0	441	△ 15	△ 4	
32	R39	3.5081	32	△ 456	441	100.0	441	△ 15	△ 4	
33	R40	3.6484	33	△ 456	441	100.0	441	△ 15	△ 4	
34	R41	3.7943	34	△ 456	441	100.0	441	△ 15	△ 4	
35	R42	3.9461	35	△ 456	441	100.0	441	△ 15	△ 4	
36	R43	4.1039	36	△ 456	441	100.0	441	△ 15	△ 4	
37	R44	4.2681	37	△ 456	441	100.0	441	△ 15	△ 4	
38	R45	4.4388	38	△ 456	441	100.0	441	△ 15	△ 3	
39	R46	4.6164	39	△ 456	441	100.0	441	△ 15	△ 3	
40	R47	4.8010	40	△ 456	441	100.0	441	△ 15	△ 3	
41	R48	4.9931	41	△ 456	441	100.0	441	△ 15	△ 3	
42	R49	5.1928	42	△ 456	441	100.0	441	△ 15	△ 3	
43	R50	5.4005	43	△ 456	441	100.0	441	△ 15	△ 3	
44	R51	5.6165	44	△ 456	441	100.0	441	△ 15	△ 3	
45	R52	5.8412	45	△ 456	441	100.0	441	△ 15	△ 3	
46	R53	6.0748	46	△ 456	441	100.0	441	△ 15	△ 2	
合計 (総便益額)									△ 2,625	

※経過年は評価年からの年数。

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

(4) 総便益額算出表-4

評価期間	年度	割引率 (1+割引率) ^t ①	経過年 (t)	景観・環境保全効果(農業用排水施設)					備考	
				更新分に 係る効果	新設及び機能向上分 に係る効果		計			
				年効果額 (千円) ②	年効果額 (千円) ③	効果発生 割合 (%) ④	年発生 効果額 (千円) ⑤=③×④	年効果額 (千円) ⑥=②+⑤		同 割引後 (千円) ⑦=⑥÷①
1	R8	1.0400	1	-	598	0.0	0	0	0	
2	R9	1.0816	2	-	598	0.0	0	0	0	
3	R10	1.1249	3	-	598	0.0	0	0	0	
4	R11	1.1699	4	-	598	0.0	0	0	0	
5	R12	1.2167	5	-	598	0.0	0	0	0	
6	R13	1.2653	6	-	598	0.0	0	0	0	
7	R14	1.3159	7	-	598	100.0	598	598	454	
8	R15	1.3686	8	-	598	100.0	598	598	437	
9	R16	1.4233	9	-	598	100.0	598	598	420	
10	R17	1.4802	10	-	598	100.0	598	598	404	
11	R18	1.5395	11	-	598	100.0	598	598	388	
12	R19	1.6010	12	-	598	100.0	598	598	374	
13	R20	1.6651	13	-	598	100.0	598	598	359	
14	R21	1.7317	14	-	598	100.0	598	598	345	
15	R22	1.8009	15	-	598	100.0	598	598	332	
16	R23	1.8730	16	-	598	100.0	598	598	319	
17	R24	1.9479	17	-	598	100.0	598	598	307	
18	R25	2.0258	18	-	598	100.0	598	598	295	
19	R26	2.1068	19	-	598	100.0	598	598	284	
20	R27	2.1911	20	-	598	100.0	598	598	273	
21	R28	2.2788	21	-	598	100.0	598	598	262	
22	R29	2.3699	22	-	598	100.0	598	598	252	
23	R30	2.4647	23	-	598	100.0	598	598	243	
24	R31	2.5633	24	-	598	100.0	598	598	233	
25	R32	2.6658	25	-	598	100.0	598	598	224	
26	R33	2.7725	26	-	598	100.0	598	598	216	
27	R34	2.8834	27	-	598	100.0	598	598	207	
28	R35	2.9987	28	-	598	100.0	598	598	199	
29	R36	3.1187	29	-	598	100.0	598	598	192	
30	R37	3.2434	30	-	598	100.0	598	598	184	
31	R38	3.3731	31	-	598	100.0	598	598	177	
32	R39	3.5081	32	-	598	100.0	598	598	170	
33	R40	3.6484	33	-	598	100.0	598	598	164	
34	R41	3.7943	34	-	598	100.0	598	598	158	
35	R42	3.9461	35	-	598	100.0	598	598	152	
36	R43	4.1039	36	-	598	100.0	598	598	146	
37	R44	4.2681	37	-	598	100.0	598	598	140	
38	R45	4.4388	38	-	598	100.0	598	598	135	
39	R46	4.6164	39	-	598	100.0	598	598	130	
40	R47	4.8010	40	-	598	100.0	598	598	125	
41	R48	4.9931	41	-	598	100.0	598	598	120	
42	R49	5.1928	42	-	598	100.0	598	598	115	
43	R50	5.4005	43	-	598	100.0	598	598	111	
44	R51	5.6165	44	-	598	100.0	598	598	106	
45	R52	5.8412	45	-	598	100.0	598	598	102	
46	R53	6.0748	46	-	598	100.0	598	598	98	
合計(総便益額)									9,352	

※経過年は評価年からの年数。

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

(4) 総便益額算出表-5

評価期間	年度	割引率 (1+割引率) ^t ①	経過年 (t)	国産農産物安定供給効果(農業用排水施設)					備考	
				更新分に 係る効果 年効果額 (千円) ②	新設及び機能向上分 に係る効果			計 年効果額 (千円) ⑥=②+⑤		左 引後 (千円) ⑦=⑥÷①
					年効果額 (千円) ③	効果発生 割合 (%) ④	年発生 効果額 (千円) ⑤=③×④			
1	R8	1.0400	1	326	-	-	-	326	313	
2	R9	1.0816	2	326	-	-	-	326	301	
3	R10	1.1249	3	326	-	-	-	326	290	
4	R11	1.1699	4	326	-	-	-	326	279	
5	R12	1.2167	5	326	-	-	-	326	268	
6	R13	1.2653	6	326	-	-	-	326	258	
7	R14	1.3159	7	326	-	-	-	326	248	
8	R15	1.3686	8	326	-	-	-	326	238	
9	R16	1.4233	9	326	-	-	-	326	229	
10	R17	1.4802	10	326	-	-	-	326	220	
11	R18	1.5395	11	326	-	-	-	326	212	
12	R19	1.6010	12	326	-	-	-	326	204	
13	R20	1.6651	13	326	-	-	-	326	196	
14	R21	1.7317	14	326	-	-	-	326	188	
15	R22	1.8009	15	326	-	-	-	326	181	
16	R23	1.8730	16	326	-	-	-	326	174	
17	R24	1.9479	17	326	-	-	-	326	167	
18	R25	2.0258	18	326	-	-	-	326	161	
19	R26	2.1068	19	326	-	-	-	326	155	
20	R27	2.1911	20	326	-	-	-	326	149	
21	R28	2.2788	21	326	-	-	-	326	143	
22	R29	2.3699	22	326	-	-	-	326	138	
23	R30	2.4647	23	326	-	-	-	326	132	
24	R31	2.5633	24	326	-	-	-	326	127	
25	R32	2.6658	25	326	-	-	-	326	122	
26	R33	2.7725	26	326	-	-	-	326	118	
27	R34	2.8834	27	326	-	-	-	326	113	
28	R35	2.9987	28	326	-	-	-	326	109	
29	R36	3.1187	29	326	-	-	-	326	105	
30	R37	3.2434	30	326	-	-	-	326	101	
31	R38	3.3731	31	326	-	-	-	326	97	
32	R39	3.5081	32	326	-	-	-	326	93	
33	R40	3.6484	33	326	-	-	-	326	89	
34	R41	3.7943	34	326	-	-	-	326	86	
35	R42	3.9461	35	326	-	-	-	326	83	
36	R43	4.1039	36	326	-	-	-	326	79	
37	R44	4.2681	37	326	-	-	-	326	76	
38	R45	4.4388	38	326	-	-	-	326	73	
39	R46	4.6164	39	326	-	-	-	326	71	
40	R47	4.8010	40	326	-	-	-	326	68	
41	R48	4.9931	41	326	-	-	-	326	65	
42	R49	5.1928	42	326	-	-	-	326	63	
43	R50	5.4005	43	326	-	-	-	326	60	
44	R51	5.6165	44	326	-	-	-	326	58	
45	R52	5.8412	45	326	-	-	-	326	56	
46	R53	6.0748	46	326	-	-	-	326	54	
合計(総便益額)									6,810	

※経過年は評価年からの年数。

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

(4) 総便益額算出表-5

評価期間	年度	割引率 (1+割引率) ^t ①	経過年 (t)	国産農産物安定供給効果(暗渠排水)					備考	
				更新分に 係る効果		新設及び機能向上分 に係る効果		計		
				年効果額 (千円) ②	年効果額 (千円) ③	効果発生 割合 (%) ④	年発生 効果額 (千円) ⑤=③×④			年効果額 (千円) ⑥=②+⑤
1	R8	1.0400	1	-	1,289	0.0	0	0	0	
2	R9	1.0816	2	-	1,289	16.9	218	218	202	
3	R10	1.1249	3	-	1,289	33.0	425	425	378	
4	R11	1.1699	4	-	1,289	50.0	645	645	551	
5	R12	1.2167	5	-	1,289	66.9	862	862	708	
6	R13	1.2653	6	-	1,289	83.0	1,070	1,070	846	
7	R14	1.3159	7	-	1,289	100.0	1,289	1,289	980	
8	R15	1.3686	8	-	1,289	100.0	1,289	1,289	942	
9	R16	1.4233	9	-	1,289	100.0	1,289	1,289	906	
10	R17	1.4802	10	-	1,289	100.0	1,289	1,289	871	
11	R18	1.5395	11	-	1,289	100.0	1,289	1,289	837	
12	R19	1.6010	12	-	1,289	100.0	1,289	1,289	805	
13	R20	1.6651	13	-	1,289	100.0	1,289	1,289	774	
14	R21	1.7317	14	-	1,289	100.0	1,289	1,289	744	
15	R22	1.8009	15	-	1,289	100.0	1,289	1,289	716	
16	R23	1.8730	16	-	1,289	100.0	1,289	1,289	688	
17	R24	1.9479	17	-	1,289	100.0	1,289	1,289	662	
18	R25	2.0258	18	-	1,289	100.0	1,289	1,289	636	
19	R26	2.1068	19	-	1,289	100.0	1,289	1,289	612	
20	R27	2.1911	20	-	1,289	100.0	1,289	1,289	588	
21	R28	2.2788	21	-	1,289	100.0	1,289	1,289	566	
22	R29	2.3699	22	-	1,289	100.0	1,289	1,289	544	
23	R30	2.4647	23	-	1,289	100.0	1,289	1,289	523	
24	R31	2.5633	24	-	1,289	100.0	1,289	1,289	503	
25	R32	2.6658	25	-	1,289	100.0	1,289	1,289	484	
26	R33	2.7725	26	-	1,289	100.0	1,289	1,289	465	
27	R34	2.8834	27	-	1,289	100.0	1,289	1,289	447	
28	R35	2.9987	28	-	1,289	100.0	1,289	1,289	430	
29	R36	3.1187	29	-	1,289	100.0	1,289	1,289	413	
30	R37	3.2434	30	-	1,289	100.0	1,289	1,289	397	
31	R38	3.3731	31	-	1,289	100.0	1,289	1,289	382	
32	R39	3.5081	32	-	1,289	100.0	1,289	1,289	367	
33	R40	3.6484	33	-	1,289	100.0	1,289	1,289	353	
34	R41	3.7943	34	-	1,289	100.0	1,289	1,289	340	
35	R42	3.9461	35	-	1,289	100.0	1,289	1,289	327	
36	R43	4.1039	36	-	1,289	100.0	1,289	1,289	314	
37	R44	4.2681	37	-	1,289	100.0	1,289	1,289	302	
38	R45	4.4388	38	-	1,289	100.0	1,289	1,289	290	
39	R46	4.6164	39	-	1,289	100.0	1,289	1,289	279	
40	R47	4.8010	40	-	1,289	100.0	1,289	1,289	268	
41	R48	4.9931	41	-	1,289	100.0	1,289	1,289	258	
42	R49	5.1928	42	-	1,289	100.0	1,289	1,289	248	
43	R50	5.4005	43	-	1,289	100.0	1,289	1,289	239	
44	R51	5.6165	44	-	1,289	100.0	1,289	1,289	230	
45	R52	5.8412	45	-	1,289	100.0	1,289	1,289	221	
46	R53	6.0748	46	-	1,289	100.0	1,289	1,289	212	
合計(総便益額)									22,848	

※経過年は評価年からの年数。

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

2 年効果額の算定方法

(1) 作物生産効果

○効果の考え方

事業を実施した場合（事業ありせば）と実施しなかった場合（事業なかりせば）の作物生産量の比較により年効果額を算定した。

○対象作物

水稲、大麦、そば、大豆、たまねぎ

○年効果額算定式

年効果額 = 単収増加年効果額^{※1} + 作付増減年効果額^{※2}

※1 単収増加年効果額 = 作付面積 × (事業ありせば単収 - 事業なかりせば単収) × 単価 × 単収増加の純益率

※2 作付増減年効果額 = (事業ありせば作付面積 - 事業なかりせば作付面積) × 単収 × 単価 × 作付増減の純益率

○年効果額の算定

(農業用排水施設)

作物名	新設・更新	作付面積			効果要因	単 収			生産増減量 ③ = ①×②÷100	生産物単価 ④	増加粗収益額 ⑤ = ③×④	純益率 ⑥	年効果額 ⑦ = ⑤×⑥
		現況	計画	効果発生面積 ①		事業なかりせば単収	事業ありせば単収	効果対象単収 ②					
水稲	更新	ha	ha	ha	単収増 (乾田化-2)	kg/10a	kg/10a	kg/10a	t	千円/t	千円	%	千円
		36.2	36.2	2.2		515	530	15	0.3	254	76	89	68
					小計	-	-	-	0.3	254	76	89	68
大麦	更新	22.2	22.2	22.2	単収増 (田畑輪換)	317	365	48	10.7	53	567	90	510
					小計	-	-	-	10.7	53	567	90	510
					大麦計	-	-	-	10.7	-	567	90	510
そば	更新	0.2	0.2	0.2	単収増 (田畑輪換)	36	41	5	-	268	-	-	-
					小計	-	-	-	-	268	-	-	-
					そば計	-	-	-	-	-	-	-	-
大豆	更新	17.7	17.7	17.7	単収増 (田畑輪換)	108	124	16	2.8	166	465	88	409
					小計	-	-	-	2.8	166	465	88	409
					大豆計	-	-	-	2.8	-	465	88	409
たまねぎ	更新	0.2	0.2	0.2	単収増 (田畑輪換)	4,083	4,695	612	1.2	59	71	75	53
					小計	-	-	-	1.2	59	71	75	53
					大麦計	-	-	-	1.2	-	71	75	53
水田計	新設	-	-										
	更新	76.5	76.5							1,179		1,040	
新設													
更新										1,179		1,040	
合計										1,179		1,040	

(暗渠排水)

作物名	新設・更新	作付面積			効果要因	単 収			生産増減量 ③= ①×②÷100	生産物単価 ④	増加粗収益額 ⑤=③×④	純益率 ⑥	年効果額 ⑦=⑤×⑥
		現況	計画	効果発生面積 ①		事業なかりせば単収	事業ありせば単収	効果算定対象単収 ②					
		ha	ha	ha		kg/10a	kg/10a	kg/10a	t	千円/t	千円	%	千円
水稲	新設	39.4	39.4	39.4	単収増 (乾田化-1)	530	562	32	12.6	254	3,200	89	2,848
					小計	-	-	-	12.6	254	3,200	89	2,848
					水稲計	-	-	-	12.6	-	3,200	-	2,848
そば	新設	0.2	0.7	0.5	作付増	-	-	41	0.2	268	54	-	-
					小計	-	-	-	0.2	268	54	-	-
					水稲計	-	-	-	0.2	-	54	-	-
たまねぎ	新設	0.2	3.6	3.4	作付増	-	-	4,695	159.6	59	9,416	5	471
					小計	-	-	-	159.6	59	9,416	5	471
					水稲計	-	-	-	159.6	-	9,416	-	471
水田計	新設	83.5	87.4								12,670		3,319
	更新	-	-								-		-
	新設										12,670		3,319
	更新										-		-
	合計										12,670		3,319

- ・作付面積 :各作物の作付面積は以下のとおり
 「現況作付面積」・坂井市の作付実績に基づき決定した。
 「計画作付面積」・新設整備では、県、坂井市の農業振興計画や関係者の意向を踏まえ決定した。
 ・更新整備では、現況施設のもとで作物生産量が維持される面積であり、現況＝計画とした。
- ・単 収 : 増加粗収益額の算定に用いる各作物の単収については、以下のとおり
 「事業なかりせば単収」・新設整備では、現況単収であり、農林水産統計等による最近5か年の平均単収により算定した。
 ・更新整備では、排水機能の喪失時の単収であり、現況単収に効果要因別の失われる増収率分を減じて算定した。
 「事業ありせば単収」・新設整備では、計画単収であり、現況単収に効果要因別の増収率を考慮して算定した。
 ・更新整備では、現況単収であり、農林水産統計等による最近5か年の平均単収により算定した。
 「効果算定対象単収」・事業ありせば単収と事業なかりせば単収の差である。
 (作付増においては、地域の計画単収である。)
- ・生産物単価 : 農作物価統計等による最近5か年の販売価格に消費者物価指数を反映した価格を用いた。
- ・純 益 率 : 「土地改良事業の費用対効果分析必要な諸係数について」による標準値等を用いた。

(2) 営農経費節減効果

○効果の考え方

事業を実施した場合（事業ありせば）と事業を実施しなかった場合（事業なかりせば）の労働費、機械経費、その他の生産資材費について比較し、それらの営農経費の増減から年効果額を算定した。

○対象作物

水稻、大麦、そば、大豆、たまねぎ

○効果算定式

年効果額 = (事業なかりせば単位面積当たり営農経費 - 事業ありせば単位面積当たり営農経費) × 効果発生面積

○年効果額の算定

(農業用排水施設)

作物名	ha当たり営農経費				ha当たり 経費節減額 ⑤ = (①-②) + (③-④)	効果発生 面積 ⑥	年効果額 ⑦ = ⑤ × ⑥
	新 設		更 新				
	現況 (事業なかりせば) ①	計画 (事業ありせば) ②	事業なかりせば 営農経費 ③	現況 (事業ありせば) ④			
	円	円	円	円	円	ha	千円
水稻 (利用集積)	5,214,692	1,150,635	-	-	4,064,057	10.6	43,079
大麦 (利用集積)	3,754,009	661,887	-	-	3,092,122	6.6	20,408
そば (利用集積)	3,682,675	617,675	-	-	3,065,000	0.2	613
大豆 (利用集積)	2,095,795	650,025	-	-	1,445,770	5.2	7,518
たまねぎ (利用集積)	3,529,622	1,586,894	-	-	1,942,728	1.1	2,137
水稻 (排水改良)	-	-	3,355,253	3,365,033	△9,780	36.2	△354
大麦 (排水改良)	-	-	2,303,198	2,292,298	10,900	22.2	242
そば (排水改良)	-	-	2,178,132	2,179,378	△1,246	0.2	0
大豆 (排水改良)	-	-	1,433,345	1,433,741	△396	17.7	△7
たまねぎ (排水改良)	-	-	2,561,680	2,571,680	△10,000	0.2	△2
新 設							73,755
更 新							△121
合 計							73,634

(暗渠排水)

作物名	ha当たり営農経費				ha当たり 経費節減額 ⑤ = (①-②) + (③-④)	効 果 発 生 面 積 ⑥	年効果額 ⑦ = ⑤ × ⑥
	新 設		更 新				
	現況 (事業なかりせば) ①	計画 (事業ありせば) ②	事業なかりせば 営農経費 ③	現況 (事業ありせば) ④			
	円	円	円	円	円	ha	千円
水稻 (排水改良)	3,551,802	3,036,624	-	-	515,178	39.4	20,298
大麦 (排水改良)	2,376,621	2,079,419	-	-	297,202	24.3	7,222
そば (排水改良)	2,207,925	2,112,210	-	-	95,715	0.7	67
大豆 (排水改良)	1,498,383	1,373,073	-	-	125,310	19.4	2,431
たまねぎ (排水改良)	2,586,120	2,555,842	-	-	30,278	3.6	109
新 設							30,127
更 新							-
合 計							30,127

・各作物のha当たり営農経費は以下のとおり

- ・ 現況営農経費 : 地域の営農経費であり、福井県の農業経営指標等に基づき算定した。
- ・ 計画営農経費 : 想定される事業により増減した地域の営農経費であり、福井県の農業経営指標等を基に、地域の農業関係機関、普及センターの指導方針を反映し算定した。
- ・ 事業なかりせば営農経費 : 地域の水利施設の機能が失われた場合に想定される水管理作業に係る経費を考慮し算定した。

(3) 維持管理費節減効果

○効果の考え方

事業を実施した場合（事業ありせば）と実施しなかった場合（事業なかりせば）を比較し、維持管理費の増減をもって年効果額を算定した。

○対象施設

排水路

○効果算定式

年効果額＝事業なかりせば維持管理費－事業ありせば維持管理費

○年効果額の算定

区分	新設	現況維持管理費①	事業ありせば維持管理費②	年効果額 ③＝①－②
	更新	事業なかりせば維持管理費①	現況維持管理費②	
		千円	千円	千円
新設整備		884	443	441
更新整備		428	884	△ 456
合 計				△ 15

・事業なかりせば維持管理費

：現況施設の維持管理費を基に、施設の機能を失った場合に想定される安全管理等に最低限必要な維持管理を算定した。

・事業ありせば維持管理費

：現況施設の維持管理費を基に、本事業の実施により見込まれる維持管理費の増減を考慮し算定した。

・現況維持管理費

：現況施設の維持管理費に基づき算定した。

(4) 景観・環境保全効果

○効果の考え方

景観や自然環境が保全、創設される効果であり、市場で扱われていない価値であるため、地域住民等にWTP (Willingness To Pay: 支払意思額) を尋ねることで、その価値を直接的に評価する手法であるCVM (Contingent Valuation Method: 仮想市場法) により効果を算定した。

○対象施設

環境保全施設

○年効果額算定式

年効果額 = 一戸当たりの支払意思額 × 受益範囲世帯数 × { C1 / (C1 + C2) }

ただし、

C1 : 景観・環境保全施設の資本還元額のうち当該土地改良事業分

C2 : 景観・環境保全施設の資本還元額のうちその他事業分

○年効果額の算定

区分	土地改良施設名	CVMによる効果額 ①	景観・環境保全施設の資本還元額 ②=③+④	当該土地改良事業の資本還元額 ③	その他の事業の資本還元額 ④	当該土地改良事業における効果額 ⑤=①×(③/②)
		千円	千円	千円	千円	千円
新設整備	排水路	598	55,372	55,372	-	598

(5) その他の効果 (国産農産物安定供給効果)

○効果の考え方

国産農産物の安定供給に対して国民が感じる安心感の効果であるため、一般国民に対してWTP (Willingness To Pay: 支払意思額) を尋ねることで、その価値を直接的に評価する手法であるCVM (Contingent Valuation Method: 仮想市場法) により年効果額を算定した。

○対象作物

水稲、大麦、そば、大豆、たまねぎ

○効果算定式

年効果額 = 年増加粗収益額 × 単位食料生産額当たり効果額 (原単位)
 + 年増加供給熱量 × 単位供給熱量当たり効果額 (原単位)

○年効果額の算定

区分	増加粗収益額 ①	増加供給熱量 (千kcal) ②	単位食料生産 額当たり効果 額 (円/千円) ③	単位供給熱量 当たり効果額 (円/千kcal) ④	当該土地改良 事業における 年効果額 ⑤ = ① × ③ + ② × ④
	千円	千kcal	円/千円	円/千kcal	千円
新設整備 (暗渠排水)	12,670	67,464	49	9.9	1,289
更新整備 (農業用排水施設)	1,179	27,054	49	9.9	326
合計	13,849	94,518			1,615

- ・ 増加粗収益額 : 作物生産効果の算定過程で整理した結果を用いて、事業ありせばと事業なかりせばにおける増加粗収益額及び増加供給熱量を整理した。
- ・ 単位食料生産額
当たり効果額 : 一般国民に対し国産農産物の安定供給についてWTPを尋ねるCVMにより、年効果額の算定に用いる単位食料生産額当たり効果額 (原単位) は49円/千円、単位供給熱量当たり効果額 (原単位) は9.9円/千kcalとした

3 評価に使用した資料

【共通】

- ・ 農林水産省農村振興局整備部（監修）[改訂版]「新たな土地改良の効果算定マニュアル」大成出版社（平成27年9月5日第2版第1刷発行）
- ・ 「土地改良事業の費用対効果分析マニュアルの制定について」（平成19年3月28日付け18農振第1597号農林水産省農村振興局企画部長通知（最終改正：令和7年4月2日））
- ・ 「国産農産物安定供給効果」について（平成27年3月27日付け26農振第2072号農林水産省農村振興局整備部長通知（令和5年4月3日一部改正））
- ・ 土地改良事業の費用対効果分析における参考資料等について（令和4年4月11日付け農林水産省農村振興局整備部関係課関係班連名事務連絡）
- ・ 土地改良事業の費用対効果分析に必要な諸係数について（平成19年3月28日付け18農振第1598号農林水産省農村振興局企画部長通知（令和7年4月1日一部改正））
- ・ 土地改良事業の費用対効果分析に必要な諸係数等について（令和7年4月1日付け農林水産省農村振興局整備部土地改良企画課課長補佐（事業効果班）事務連絡）

【費用】

- ・ 当該事業費に係る一般に公表されていない諸元については、福井県農林水産部農村振興課調べ

【便益】

- ・ 北陸農政局統計部（令和5～6年）「北陸農林水産統計年報」北陸農政局統計部
- ・ 農林水産省大臣官房統計部（平成27年8月）「平成27年農業物価統計」農林水産省
- ・ 令和2年国勢調査(<https://www.e-stat.go.jp/>)
- ・ 農林水産省統計部（令和2年）「令和2年農林業センサス福井県統計書」農林水産統計協会
- ・ 上記以外の効果算定に必要な各種諸元については、福井県農林水産部農村振興課調べ